

ご自由にお持ち帰りください。

# 生涯学習

# とっとり

鳥取県教育委員会発行  
2014. 1 睦月

150

鳥取県内の生涯学習講座が満載!

ページ

## 1 ★特集

**みんなの力で地域を元気に!  
地域づくり、人づくりについて考えよう**

### 3 ★とっとり県民カレッジ

- 入学のご案内
- 1・2月講座情報(連携講座)

### 27 ★お知らせ

- 県民ふれあい会館
- 船上山少年自然の家
- 大山青年の家

### 29 ★文部科学大臣表彰

県内の優れた取組を紹介します!

### 30 ★とりぎん青い鳥基金

#### ★子育てホットライン

#### ★シリーズ元気な公民館 伯耆町日光公民館

### 31 ★県民ふれあい会館リニューアルオープン記念コンサート

「歌う海賊団ッ!ファミリーライブ」参加者募集

#### ★シリーズ「手話を学ぼう」



#### 『切り絵シリーズ』 赤碕港(琴浦町)

極寒の海風を受けて、無言でたたずむ「波しぶき三度笠」。  
不況の荒波に立ち向かうかのようなシルエットが頼もしい!

絵・文：紙原 四郎氏

みんなの力で地域を元気に!

# 地域づくり、人づくり について考えよう

「鳥取県社会教育振興大会」の開催報告

鳥取県の生涯学習・社会教育の充実をめざして、10月29日に米子コンベンションセンターで『鳥取県社会教育振興大会』が開催されました。

大会では、有識者による講演のほか、県内の市町村が行っている教育力向上、公民館活動の充実などの特色ある取組について、実践発表や資料展示による情報交換が行われました。今回、その一部をご紹介します。

講演

## 「社会に参加して『健康寿命』を延ばす —高齢者の生き方を問い直す—」

講師 みうら せいいちろう  
三浦 清一郎 氏

### ■プロフィール

福岡県在住  
三浦清一郎事務所所長  
(生涯学習・社会システム研究者)  
月刊生涯学習通信「風の便り」発行人/編集長  
平成3~11年 九州共立大学、  
九州女子大学、同短期大学副学長



日本人の平均寿命が、男性 79.64 歳・女性 86.39 歳 (H22) であるのに対して、健康寿命<sup>※</sup>は、男性 70.42 歳・女性 73.62 歳 (H22) です。この差を縮めなければ、近い将来、国家財政は破綻し、若い世代の老後も崩壊してしまうでしょう。どうすれば健康寿命を延ばすことができるのでしょうか。

そのカギは、「活動」なのです。

※健康寿命…健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間

## 元気だから活動するわけではありません。 活動するから元気なのです。

「あの人は、昔から元気で、いろんなことをしている。」という話を聞いたりします。そこで、実際に「かつて元気で、今も元気な高齢者」「かつて元気だったが、今は元気を失っている高齢者」「かつてそんなに元気ではなかったが、今は元気な高齢者」を調査してみると、今、元気な高齢者は、様々な活動をしていました。

「定年後はのんびりと、悠々自適に過ごす」は、どうなのでしょう。人間の機能や能力は、鍛えなければ衰えます。したがって、やりたいことをやりたいときにすればいい、やりたくないことはしなくていい、無理をしない、頑張らなくていい、といった姿勢は老化を促進してしまうのです。そして多少の負荷を伴うよう

な「頭をつかう・体をつかう・気をつかう」活動が老化の進行を鈍らせ、健康寿命を延ばすことにつながるのです。ですから、社会教育が高齢者の活動できる場を作り出さなければなりません。

高齢者の社会参加  
↓  
健康寿命の延長



## 『<sup>かくしゅう</sup>楽習』のみでは地域課題の解決はできない 社会貢献活動に生かすことのできる生涯学習に重点を!

「生涯学習」とは、いつでも、どこでも、誰でも、生涯を通じて行う学習のことです。昭和60年代以降、学習する内容は本人の選択に任せればいい、という空気が広がり、「生涯学習」の内容の多くがカルチャー教室で行われるような趣味・娯楽的なものに偏る傾向が見られました。極端に言えば、「高齢者の生涯学習は、カラオケとゲートボールだ」と表現されたりもしました。従来「学習」にあまり縁のなかった人々が、人生を楽しむための「楽習(かくしゅう)」を発見することは意義あることです。しかし、税金を個人の趣味・娯楽に使っていいのかという批判や、社会や地域課題の解決につながる学習を重点的に学びの要素として取り上げるべきだという指摘もありました。行政は、人々の希望にのみ振り回されるべきではなかった、ということが最大の反省点です。

現代の地域社会は、自己都合を優先する「自己中心社会」となってしまいました。社会貢献を前提としない「楽習」や交流事業をいくら重ねても、生き甲斐も連帯も生まれなかったことは、現在の無縁社会の到来が雄弁に証明しています。多くの人々が、生涯学習としてもっと社会貢献活動に主体的に参加するべきではないでしょうか。

## 実践発表



### みんなで地域を盛り上げたい!!

～わかいもんで、地域を元気に!～

#### 富吉自治会 (日吉津村)

富吉自治会では1年を通じて、環境美化、球技大会、自治会まつりなど季節に応じた行事を行っています。

これらの行事を通じて住民同士のつながりが強くなることにより、普段の自治会活動が円滑に行え、また、ひとり暮らしなどで孤立することのない、住みよい地域づくりに励んでいます。自治会の活動は、コミュニティづくりの一環であると考えています。



日吉津村 富吉自治会 青春部

富吉自治会では、近年若い人たちが中心となり青春部を結成し、若い力で地域を盛り上げようと、様々な活動に取り組んでいます。

若者が地元にかかわるきっかけとして、青春部がイベントを運営!



自治会夏祭り



村民運動大会



球技大会



芸能大会

青春部が地域の催しを主体となっていくことで、今まで地域と関わりの少なかった同世代の若者を多く呼び寄せることができ、地域と関わるきっかけとなりました。今後、この若者たちに継続して参加してもらい、さらに魅力のある地域づくりを行っていく予定です。

## 実践発表



若桜町の社会教育  
公民館のあり方について考える

### わかさ地域おこし協議会 で町に活力を!

若桜町公民館 (若桜町)

若桜町公民館では、全ての世代を対象に各種学級・講座等を実施するとともに、各種サークル活動の活性化支援に取り組んでいます。

また、そこで学んだ成果を生かして、住民による地域おこしも活発に行われています。

#### 公民館の実施事業

- 学級・講座 … ナティキッズ、家庭教育支援学級、寿大学、ものづくり体験講座、高齢者学級 など
- 各種事業 … 町民文化祭、夏休み支援教室 など
- 趣味の会・同好会 (34サークル) … 茶道、書道、地域おこし協議会

### わかさ地域おこし協議会 (WTP)

わかさ地域おこし協議会とは、以前行っていた公民館事業「若桜塾」に参加していた町民が中心となり、町の歴史や文化、伝統などを活かして、町の活力を取り戻そうと発足したものです。

協議会では以下の事業を展開しながら、町民とともに若桜町の活性化に努めています。

- 若桜町の地域おこしを行うために必要な研修
- 他市町村のまちおこし協議会などとの交流や町内他団体と連携してのイベント開催
- 若桜町内の名所・旧跡などの環境整備
- 協議会の活動状況などに関する広報

#### 視察研修



奈良県桜井市の「若桜神社」「稚櫻神社」などを訪問

#### 講演会



#### 環境整備



#### 鳥取市若葉台との交流



協議会は、町民とともに地域づくりのノウハウを学び、それを地域に還元しながら若桜町を元気にしています!!

今回、県内で行われている取組の一部をご紹介しましたが、各地域でも様々な魅力ある取組が行われています。配布される公民館だよりなどで情報を得て、興味を持った取組に参加し、地域を元気にしていきませんか?

鳥取県社会教育振興大会で紹介された全市町村の取組は、家庭・地域教育課のホームページでも紹介しています。

鳥取県社会教育振興大会 検索